

XIX. 地域の生活環境について（問 52(1)～(11)）

ここでは、「十分満足である」「まあ満足である」「どちらともいえない」「やや不満である」「非常に不満である」の回答者数に、各々+2点、+1点、0点、-1点、-2点を掛け合わせ、その合計を回答者数で割ったもの（平均点）を「満足度評価」として分析し、平成22年度調査以降9年間と今年度実施による結果の比較を行う。

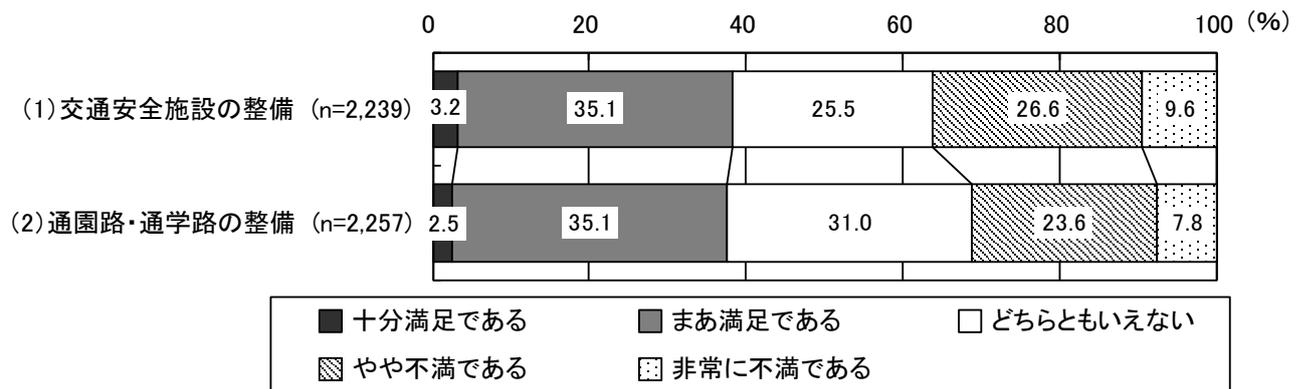
※平均点による満足度の評価（凡例）

-0.3		-0.1		0	0.1	0.2	0.4	
非常に低い	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	非常に高い		

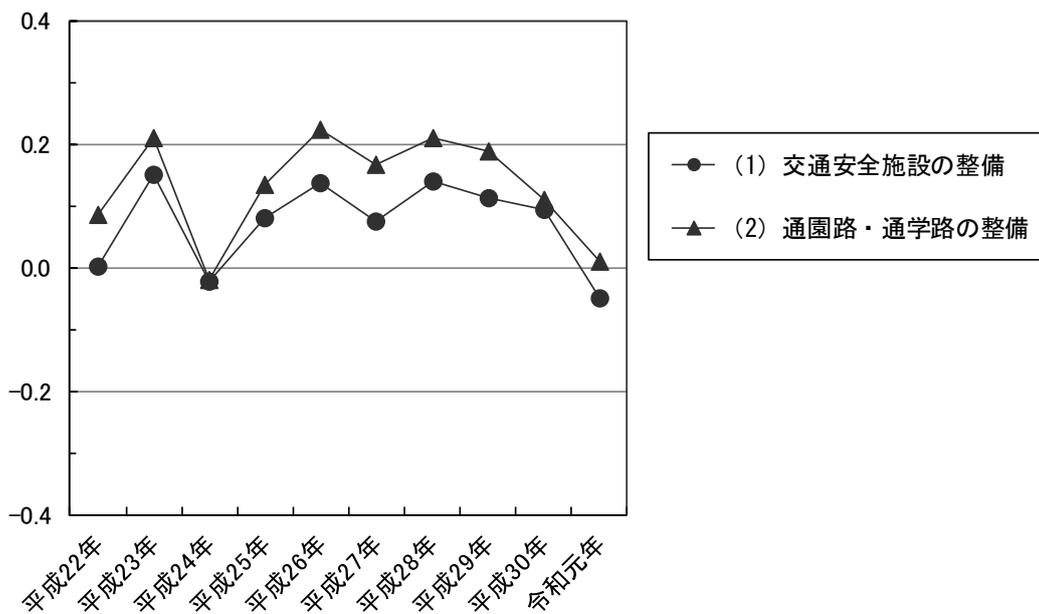
【問 52(1)～(2)】「安全性」について

地域の生活環境の安全性について、「十分満足である」と「まあ満足である」を合わせた割合は、「交通安全施設の整備」が約 38%で最も高く、次いで「通園路・通学路の整備」(約 38%)が続いている。

【問 52】あなたの住んでいる身近な地区（小学校区）について、どの程度満足していますか（安全性）。



平成 22 年度以降 10 年間の満足度評価の比較（安全性）



(1) 道路照明・ガードレールなど交通安全施設の整備

全体の約 38%が満足（「十分満足である」と「まあ満足である」の合計で以下同じ）、約 36%が不満（「非常に不満である」と「やや不満である」の合計で以下同じ）と回答している。平均点は-0.05 で、満足度は安全性の 2 項目の中で最も低い。

過去からの調査結果を比較すると、本年度は昨年度から下降し、「やや低い」となった。

(2) 通園路・通学路の整備

全体の約 38%が満足、約 31%が不満と回答している。平均点は 0.01 で、満足度は安全性の 2 項目の中で最も高い。

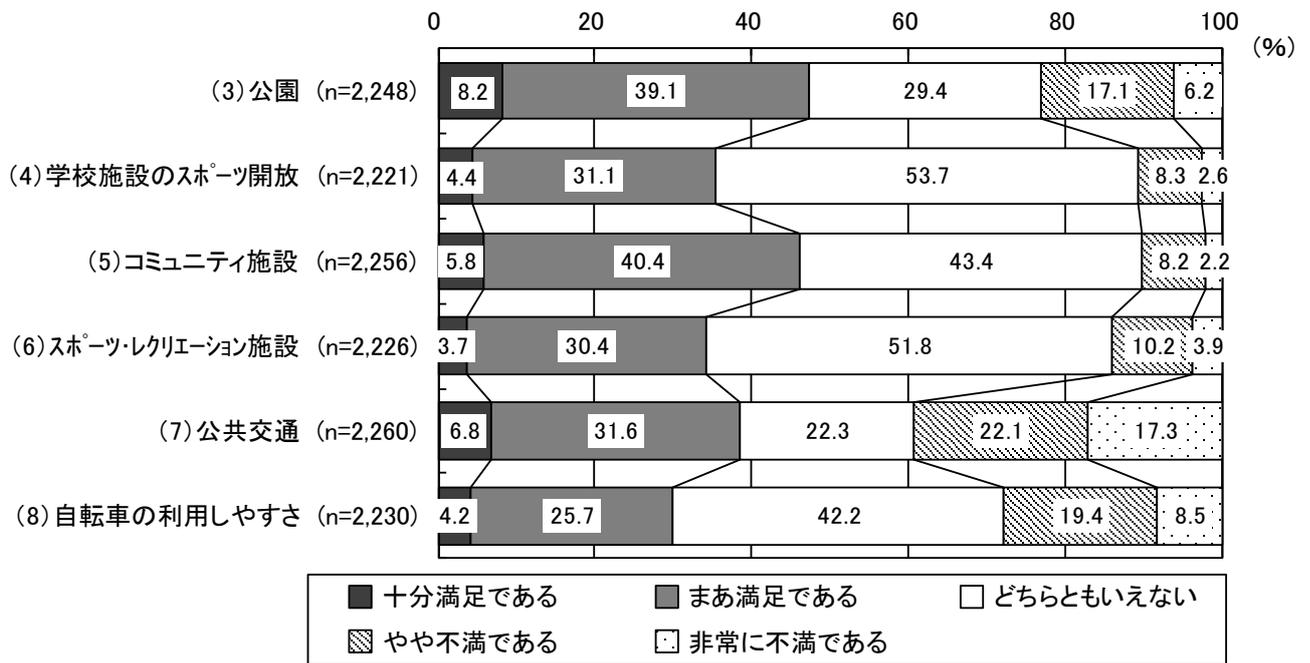
過去からの調査結果を比較すると、本年度は昨年度から下降し、「普通」となった。

【問 52(3)～(8)】「利便性」について

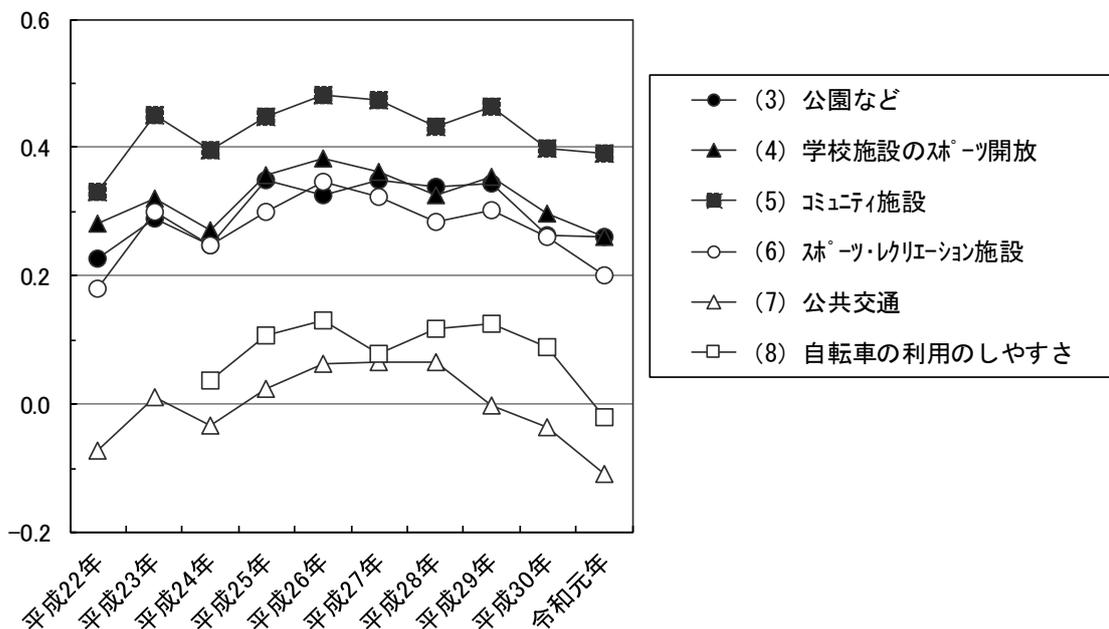
地域の生活環境の利便性について、「十分満足である」と「まあ満足である」を合わせた割合は、「公園」に満足している人が最も多く約 47%を占めている。次いで「コミュニティ施設」(約 46%)が続いている。

一方、「公共交通」については、不満に思っている人が約 39%を占めている。

【問 52】あなたの住んでいる身近な地区（小学校区）について、どの程度満足していますか（利便性）。



平成 22 年度以降 10 年間の満足度評価の比較（利便性）



(3) 公園など

全体の約 47%が満足、約 23%が不満と回答している。平均点は 0.26 で、満足度は利便性の 6 項目の内、同率で 2 番目に高い。

過去からの調査結果を比較すると、本年度も昨年度と同様に、「高い」状態である。

(4) 学校施設のスポーツ開放など

全体の約 36%が満足、約 11%が不満と回答している。平均点は 0.26 で、満足度は利便性の 6 項目の内、同率で 2 番目に高い。

過去からの調査結果を比較すると、本年度も昨年度と同様に、「高い」状態である。

(5) 地区市民館・校区市民館などコミュニティ施設

全体の約 46%が満足、約 10%が不満と回答している。平均点は 0.39 で、満足度は利便性の 6 項目の内、最も高い。

過去からの調査結果を比較すると、満足度は高い水準で推移しているが、本年度は昨年度から下降し、「高い」となった。

(6) 地区体育館などスポーツ・レクリエーション施設

全体の約 34%が満足、約 14%が不満と回答している。平均点は 0.20 で、満足度は利便性の 6 項目の内、4 番目となった。

過去からの調査結果を比較すると、本年度も昨年度と同様に、「高い」状態である。

(7) 公共交通の利用のしやすさ

全体の約 38%が満足、約 39%が不満と回答している。平均点は-0.11 で、満足度は利便性の 6 項目の内、最も低い。

過去からの調査結果を比較すると、本年度は昨年度から下降し、「低い」となった。

(8) 自転車の利用のしやすさ

全体の約 30%が満足、約 28%が不満と回答している。平均点は-0.02 で、満足度は利便性の 6 項目の内、5 番目となった。

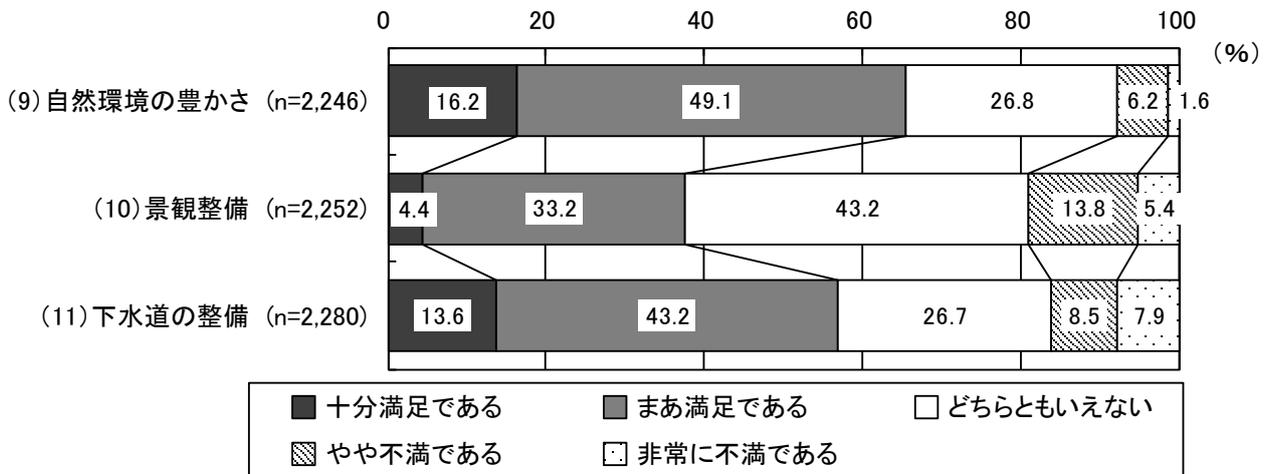
平成 24 年度より追加された項目で、本年度は昨年度から下降し、「やや低い」となった。

【問 52(9)～(11)】「快適性」について

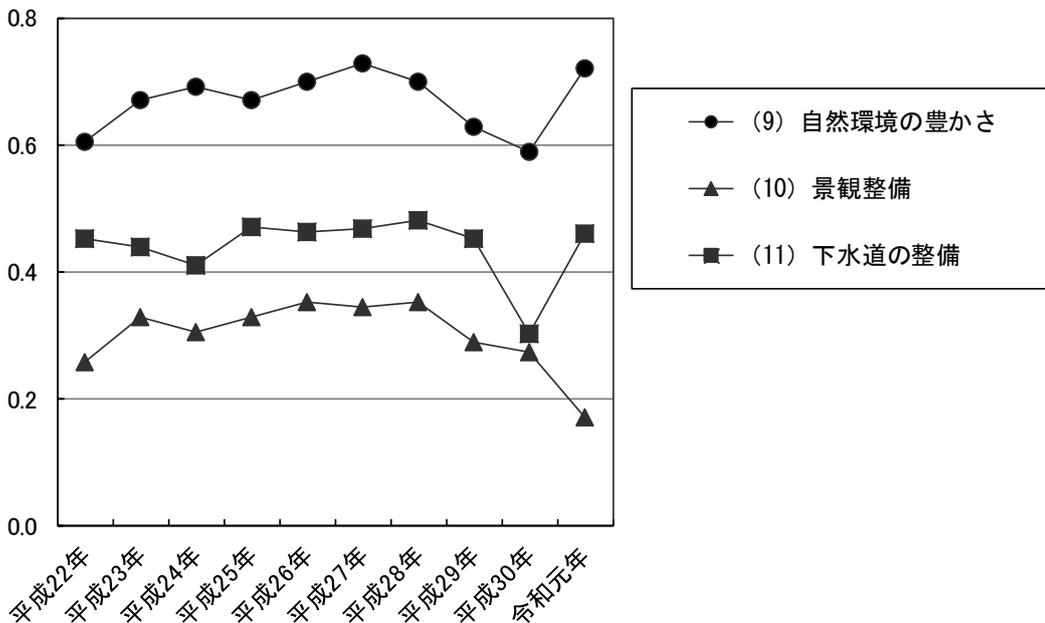
地域の生活環境の快適性について、「十分満足である」と「まあ満足である」を合わせた割合は、「自然環境の豊かさ」が約 65%で最も高く、次いで「下水道の整備」(約 57%)が続いている。

一方、「景観整備」については、不満に思っている人が約 19%を占めている。

【問 52】あなたの住んでいる身近な地区（小学校区）について、どの程度満足していますか（快適性）。



平成 22 年度以降 10 年間の満足度評価の比較（快適性）



(9) みどり、自然環境の豊かさなど

全体の約 65%が満足、約 8%が不満と回答している。平均点は 0.72 で、満足度は快適性の 3 項目の中で最も高い。

過去からの調査結果を比較すると、満足度は高い状態で推移しており、本年度は昨年度と同様に、「非常に高い」状態である。

(10) 美しいまちづくりのための景観整備

全体の約 38%が満足、約 19%が不満と回答している。平均点は 0.17 で、満足度は快適性の 3 項目の中で最も低い。

過去からの調査結果を比較すると、本年度は昨年度から下降し、「やや高い」となった。

(11) 下水道の整備

全体の約 57%が満足、約 16%が不満と回答している。平均点は 0.46 で、満足度は快適性の 3 項目の中で 2 番目となった。

過去からの調査結果を比較すると、本年度は昨年度から上昇し、「非常に高い」となった。